

令和2年度使用教科用図書 第2回高砂採択地区選定委員会（理科） 議事録

令和元年7月26日（金）

高砂市ユーアイ福祉交流センター

発言者	内容
司会（会長）	東京書籍について、いかがか。
委員	判が大きいことを紙面づくりに生かしているか疑問である。写真はやや大きい印象である。
委員	判を大きくしたメリットは、あまり感じられない。
委員	同感である。ランドセルに入れた時に、他の教科書とでこぼこしない方がよい。
委員	私は、判を大きくしたおかげで、見やすいと思う。デザイン、レイアウトはきれいな仕上がりである。大きいことがよいかどうかは、判断しづらい。
委員	学びの方向性は非常に明確である。児童が何について、どのように勉強するのが、よく練られている。ただ情報量が多い。
委員	字が大きいので読みやすい。
委員	内容も大事だが、大きくて机の引き出しに入らない点が問題である。
委員	机のサイズも考慮する必要がある。児童の机の中がぎっしり詰まるのではないか。
委員	ユニバーサルデザインの観点から、紙質や構成が変えられているのであろう。しかし、文字が大きくなった分、重くなっている。
司会（会長）	大日本図書については、いかがか。
委員	ノートの書き方が掲載されており、見本として指導しやすい。
委員	調査員会の報告に、「圧縮と膨張」など、時期や構成が繋がっていない点が問題であると指摘があったが、いかがか。
委員	単元の配列や紙面の作り方に難がある。
委員	3年生の教科書は季節感にずれがある。ユニバーサルデザインへの配慮はあるが、文字がやや小さいため、調査員会の報告のように◎とまではならないと思う。
委員	昆虫の学習の時期がずれているのでは、という調査員会の報告については、

	そうは思わない。
委員	調査員会の報告では、4年生の「とじこめられた空気と水」「ものの温度と体積」の2つの単元が離れ過ぎているとされているが、いかがか。
委員	とくに影響はないと思う。ただし、生き物の学習の場合、その時期にいない生き物を探すのは困難である。
司会（会長）	学校図書について、いかがか。
委員	各単元で、学習の流れがしっかりと書かれているのでよい。
委員	実験についても、よく書かれている。QRコードは少ない。
委員	3年生の蝶の飼育では、この単元配列ではアオムシを見つけられない時期に学習することになる。「かげと太陽」と蝶の飼育を並行してやるということだと思うが、この配列はいかがなものか。「かげと太陽」が後に来る配列にするべきである。指導する教師にとって、使いやすい教科書であるべきなので、単元配列は大事だと思う。
委員	実験や観察の仕方が詳しく、わかりやすく書かれていてよい。
委員	紙質がツルツルし過ぎており、書き込みをするのに向いていない。
司会（会長）	教育出版について、いかがか。
委員	ページ数が多く、分厚い。年間授業時間数が不足することが考えられる。また、教科担任制が増えており、時間の確保が難しく、ぎりぎりの状態で学校現場は苦勞している。
委員	3年の単元配列は1学期が「ゴムと力」だけで、2学期が「光と音」「ものの重さ」「電気」と2学期の分量が多い。時期的なこともあり、仕方がないように思うが、ページ数と情報量がやや過多である。
委員	ノートの手取り方が冒頭に書かれている。ノートの取り方は、どの学年になっても継続指導すべきことなので、教師も教えやすい。
委員	説明が増えたからか、まとめなどが詳しくなったからか理由はわからないが、ページ数が多いと感じる。
委員	まとめとして問題が掲載されているが、必要性をあまり感じない。児童の深い学びにつながりにくい。
司会（会長）	啓林館について、いかがか。

委員	情報量もちょうどよいし、全体的にまとまっていてよい。
委員	「もう一度考えてみよう」というところで、発展学習ができる。大きく書かれているので見やすい。
委員	よい所は、活用がある点である。生活に戻す場面があるので、発展的学習ができる。
委員	教科書のサイズも掲載量も、ちょうどよい。また、QRコードが使いやすい。児童も教師も使いやすい教科書であると言える。
委員	まとめの説明が多すぎず、児童に考えさせることにより、発展的で深い学びにつなげられる。
委員	昆虫の写真は、羽音も聞こえてきそうなくらい臨場感がある。QRコードの活用により、視覚支援による学習が進み、たいへんよい。
司会（会長）	本委員会では、啓林館を第一に推薦する。第二は、内容では東京書籍としたいところであるが、大きさが気になるため大日本図書とする。